

「石炭火力を考える東京湾の会」発足

本日千葉県知事に東京湾岸の石炭火力発電建設計画への申入れ

現在、東京湾岸では袖ヶ浦、千葉、横須賀の3ヶ所で5基の石炭火力発電所が新規建設される計画があります。すでに東京湾岸では多数の火力発電所が稼働しており、これに加えて石炭を燃料とする大規模な火力発電所が建設されることに対して様々な懸念や反対の声があがっています。

各地域では、昨年より石炭火力発電所の問題について考える地域団体が発足しており、さらに5月2日にはこれらの団体をネットワークする「石炭火力を考える東京湾の会」が発足しました。

16日には環境省に対して申入れを行い、本日22日には千葉県知事に対して申入れを行いましたのでリリースいたします。

<住民の主な懸念>

●大気汚染

・現状でもPM2.5や光化学オキシダントなど環境基準を満たしていない状況であり、さらに降下ばいじんや粉じんによる被害もいまだ解決していない。

●防災上の安全の問題

・建設計画のある地域は地震による液状化や津波の影響も懸念されている。蘇我では、広域防災拠点に隣接。

●住宅密集地に隣接

・建設予定地は、多くの市民が居住している住宅密集地(保育所・幼稚園・学校・大型ショッピングセンター等がある)に隣接している。

●石炭灰の行き先

・大量の石炭灰の処理先が定まっていない。

●複合汚染

・複数の石炭火力発電所が全て稼働した場合の環境影響評価がされていない。

●生態系への影響

・千葉では盤州干潟が袖ヶ浦火力発電所建設予定地から3km程度の距離。

●海水温上昇の影響

・東京湾ではこの数年で水温が上昇しており、海苔養殖などへの影響がある。さらに火力発電所ができればさらに水温が上がる。

●気候変動問題

・パリ協定に反し、大量のCO2を長期に排出する。

<石炭火力発電所建設計画>

1. 袖ヶ浦【アセス：方法書済】

発電所名 (仮称) 千葉袖ヶ浦火力発電所1号・2号

企業名/運営会社: 千葉袖ヶ浦エネルギー/九州電力、出光興産、東京ガス

設備容量: 200万kW (100万kW×2)

運転開始予定: (1号)2025年、(2号)2026年

2. 横須賀【アセス：方法書済】

発電所名 (仮称) 横須賀火力発電所新1号・新2号

企業名/運営会社: JERA/東京電力F&P、中国電力

設備容量: 130万kW (65万kW×2)

運転開始予定: (新1号)2023年、(新2号)2024年

3. 千葉【アセス：配慮書済】

発電所名 (仮称) 蘇我火力発電所

企業名/運営会社: 千葉パワー/中国電力、JFEスチール

設備容量: 107万kW

運転開始予定: 2024年

<会の概要>

◎会の名称 石炭火力を考える東京湾の会 (略称: 東京湾の会)

◎会の目的 東京湾岸に新增設される石炭火力発電所問題等についての取り組みを行う。

◎会の性格 緩やかな連絡会 (定期的な情報交換を主体にし、必要に応じて連絡会として取り組む) とし、各地域の個別案件については各地域の組織が主体的に取り組む事とする。

◎共同代表 (50音順)

小西由希子 (千葉/蘇我石炭火力発電所計画を考える会)

鈴木 陸郎 (横須賀/横須賀石炭火力発電所建設について考える会)

富樫 孝夫 (袖ヶ浦/袖ヶ浦市民が望む政策研究会)

永野 勇 (市原/石炭火力を考える市原の会)

◎URL <http://nocoal-tokyobay.net/>